

寛永寺を歩く（東京都台東区）

徳川幕府の安泰と万民の平安を祈願し江戸城の鬼門に建立



寛永寺の本堂の根本中堂。元禄11年(1698)に建てられた当初の堂は上野戦争で焼けたため、明治12年(1879)に川越の喜多院から本地堂が移築された。



徳川慶喜公謹慎の間。新政府との争いを避けて謹慎した慶喜公は、慶応4年(1868)4月11日の江戸城無血開城までここに留まった。



常楽院殿材額門(重文)。第5代将軍綱吉公の廟所に建つ門。第2次大戦の空襲で大きな被害を受けた徳川家霊廟の貴重な遺構の一つ。



開山堂。寛永寺を開山した慈眼大師天海大僧正と、天海大僧正が尊崇した慈眼大師良源大僧正をお祀りすることから両大師ともいう。



江戸時代の寛永寺を描いた錦絵。比叡山延暦寺を模して根本中堂や常行堂・法華堂(にない堂)などが建てられているのがわかる。根本中堂は延暦寺よりさらに大きかった。

『寛永名所 上野東都山全図』(国立国会図書館蔵)



別格大本山 東叡山 寛永寺
住所◆東京都台東区上野桜木1丁目14番11号
電話◆03-3821-4440
交通◆JR鶯谷駅から徒歩10分、
またはJR上野駅より徒歩15分
拝観◆9:00～17:00
拝観料◆無料

慈眼大師天海大僧正が比叡山延暦寺に倣って江戸城の鬼門封じの祈願寺として創建した寛永寺。境内には近江・京の名所に見立てた堂塔が建てられました。その後、徳川家の菩提寺ともなり、日本の宗教界を統括する大寺院となりました。



ご案内いただいた
寛永寺 執事
宮部亮佑さん

徳川将軍家の祈願寺にして庶民の憩いの場であった名刹

博物館や美術館、コンサート・ホール、動物園などの文化施設が建ち並ぶ広大な上野恩賜公園。かつてここは寛永寺の境内でした。上野駅も山手線の一部もかつての境内にあります。驚くのはそれほどではありません。大噴水のところには、開口約46メートル、奥行き約42メートル、高さ約32メートルもある、江戸随一の建築物、根本中堂があったのです。

しかし、最後の将軍・慶喜公を守るために結集した彰義隊と新政府軍が戦った上野戦争により、ほとんどの建物が焼失、さらに境内の大部分を国に接収されてしまいました。これは徳川家の菩提寺であったための処分でした。「寛永寺はもともと徳川幕府の祈願寺として寛永2年(1625)に建てられました。菩提寺となったのは四代将軍家綱公の時からです」と案内してくださった執事の宮部亮佑さんはおっしゃいます。「寛永寺を創建された慈眼大師天海大僧正には見立ての思想がありまして、寛永寺を御所の鬼門を封じている。比叡山延暦寺に見立てて、江戸城の鬼門封じのお寺としたのです。山号の東叡山とは東の比叡山という意味です」境内には延暦寺を模して根本中堂や常行堂・法華堂などが建てられました。天海大僧正の見立てはさらに発展しました。境内に京都や近江(滋賀県)の名所に見立てた堂を造っていったのです。京の清水寺を模して舞台造で建てられた清水観音堂や、琵琶湖に浮かぶ竹生島の宝厳寺を模して不忍池に中之島を築いて造られた辯天堂などがその例です。それぞれのこ本尊も清水寺や宝厳寺からお迎えするという徹底ぶりでした。上野山に桜を植えたのも天海大僧正で、これは吉野山に見立てたものでし